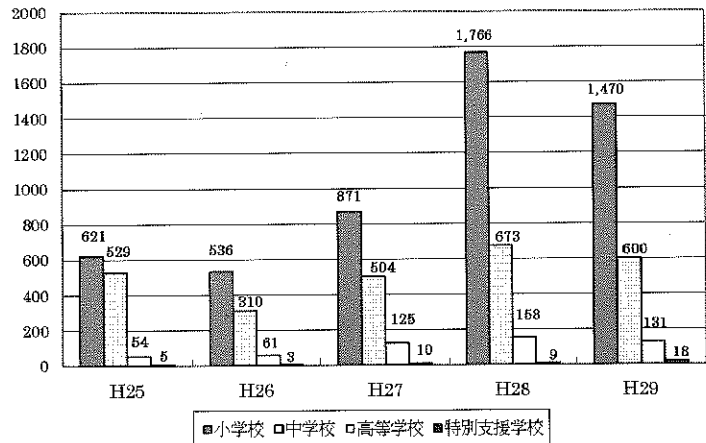


平成 29 年度 公立小中学校及び県立高等学校・特別支援学校におけるいじめの状況等

1 概要 (図1・表1参照)

- 平成 29 年度の公立小中学校及び県立高等学校・特別支援学校におけるいじめの認知件数は 2,219 件で、平成 28 年度と比較すると 387 件減少。
- 校種別の認知件数は、小学校 1,470 件、中学校 600 件、高等学校 131 件、特別支援学校 18 件で、平成 28 年度と比較すると、小学校・中学校・高等学校で減少し、特別支援学校は 9 件増加。
- 1,000 人あたりのいじめ認知件数は 12.0 件で、平成 28 年度と比較すると 1.9 件減少。

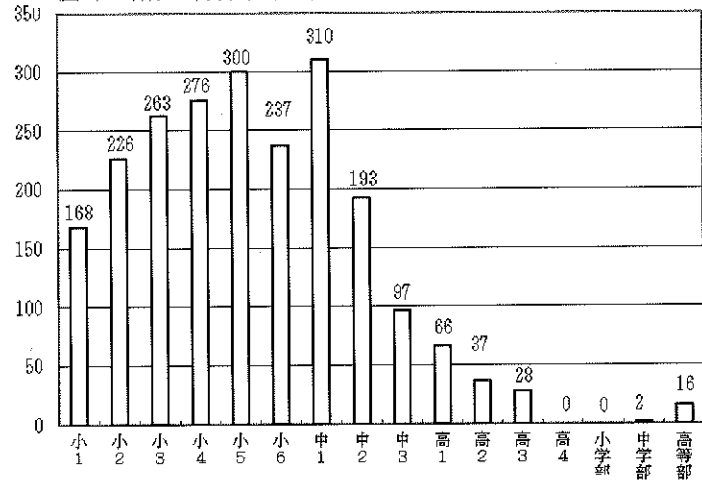
(図1) いじめの認知件数の推移 (単位: 件)



2 学年別認知件数 (図2参照)

- 学年別では中学 1 年生が 310 件で最も多く、次いで小学 5 年生 300 件、小学 4 年生 276 件、小学 3 年生が 263 件の順。

(図2) 平成 29 年度学年別認知件数 (単位: 件)



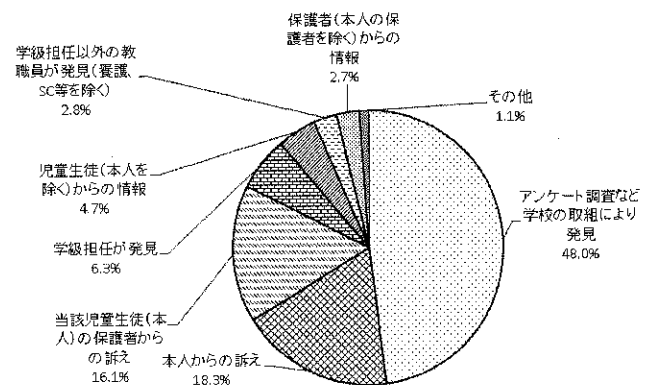
3 いじめの解消状況 (表2参照)

- 全体で、1,861 件 (83.9%) が解消。
- 校種別では、小学校 1,236 件 (84.1%)、中学校 502 件 (83.7%)、高等学校 108 件 (82.4%)、特別支援学校 15 件 (83.3%) が解消。

4 いじめ発見のきっかけ (図3参照)

- 公立小中学校では、最も多い発見のきっかけは、「アンケート調査など学校の取組により発見した」(小学校 791 件、中学校 234 件)。
- 県立高等学校及び特別支援学校では、最も多い発見のきっかけは、「本人からの訴え」(高等学校 40 件、特別支援学校 6 件)。

(図3) いじめ発見のきっかけ (全校種)



5 いじめの態様 (複数回答: 表3参照)

- 全校種ともに「冷やかしゃからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。」が最も多く、認知件数に占める割合は 61.4%。
- 「パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷や嫌なことをされる。」の認知件数に占める割合は 4.7%で、平成 28 年度 (3.8%) と比較すると 0.9 ポイント増加。

6 いじめの日常的な実態把握のために、学校が直接児童生徒に対し行った具体的な方法について (表4参照)

- 公立小中学校及び県立高等学校・特別支援学校の全ての学校において、アンケート調査を複数回実施。

平成 29 年度 公立小中学校及び県立高等学校・特別支援学校におけるいじめの状況等  
(データ)

(表 1) いじめの認知学校数・認知件数等の推移

区 分		※公立学校 総数:A(校) [学校基本調査 の校数]	認知学校数:B (校)	認知率: B/A×100(%)	認知件数:C (件)	認知件数の増 ▲減率(%)	1校あたりの認 知件数:C/A (件)	1,000人あたり の認知件数
小学校	H25	412	182	44.2	621	▲ 36.3	1.5	6.2
	H26	402	177	44.0	536	▲ 13.7	1.3	5.5
	H27	399	292	73.2	871	62.5	2.2	9.0
	H28	391	316	80.8	1,766	102.8	4.5	18.5
	H29	377	307	81.4	1,470	▲ 16.8	3.9	15.6
中学校	H25	170	122	71.8	529	▲ 16.0	3.1	10.4
	H26	165	93	56.4	310	▲ 41.4	1.9	6.2
	H27	164	132	80.5	504	62.6	3.1	10.1
	H28	163	137	84.0	673	33.5	4.1	13.8
	H29	161	134	83.2	600	▲ 10.8	3.7	12.6
高等学校	H25	70	27	38.6	54	▲ 57.1	0.8	1.3
	H26	68	29	42.6	61	13.0	0.9	1.5
	H27	68	59	86.8	125	104.9	1.8	3.0
	H28	69	54	78.3	158	26.4	2.3	3.8
	H29	69	50	72.5	131	▲ 17.1	1.9	3.2
特別支援学校	H25	16	2	12.5	5	▲ 28.6	0.3	3.4
	H26	16	2	12.5	3	▲ 40.0	0.2	2.0
	H27	16	4	25.0	10	233.3	0.6	6.6
	H28	16	5	31.3	9	▲ 10.0	0.6	5.8
	H29	17	6	35.3	18	100.0	1.1	10.9
合計	H25	668	333	49.9	1,209	▲ 30.4	1.8	6.2
	H26	651	301	46.2	910	▲ 24.7	1.4	4.8
	H27	647	487	75.3	1,510	65.9	2.3	8.0
	H28	639	512	80.1	2,606	72.6	4.1	13.9
	H29	624	497	79.6	2,219	▲ 14.9	3.6	12.0

※高等学校の学校総数は、全日制、定時制、通信制をそれぞれ1校として計上しています。

(表2) いじめの解消状況

(単位：件)

区 分	解 消 し て い る も の				
	H25	H26	H27	H28	H29
小 学 校	579	493	818	1,600	1,236
解消率 (%)	93.2	92.0	93.9	90.6	84.1
中 学 校	477	288	478	624	502
解消率 (%)	90.2	92.9	94.8	92.7	83.7
高 等 学 校	52	53	97	149	108
解消率 (%)	96.3	86.9	77.6	94.3	82.4
特別支援学校	5	3	9	9	15
解消率 (%)	100.0	100.0	90.0	100.0	83.3
計	1,113	837	1,402	2,382	1,861
解消率 (%)	92.1	92.0	92.8	91.4	83.9

※「いじめ防止等のための基本的な方針」(文部科学省：平成29年3月改定)により、いじめの解消は被害者に対する行為が止んでいる状態が少なくとも3か月継続していることとなったため、県独自に平成30年6月末での解消状況を調査したところ94.9%が解消していました。

(表3) いじめの態様(複数回答)

	小学校(件)	中学校(件)	高等学校(件)	特別支援学校(件)	計(件)	認知件数に占める割合	構成比
冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。	871	415	69	7	1,362	61.4%	53.2%
仲間はずれ、集団による無視をされる。	186	75	20	0	281	12.7%	11.0%
軽くぶつかられたり、遊ぶふりをしてたたかれたり、蹴られたりする。	290	71	24	3	388	17.5%	15.1%
ひどくぶつかられたりたたかれたり、蹴られたりする。	51	16	6	0	73	3.3%	2.8%
金品をたかられる。	8	8	4	1	21	0.9%	0.8%
金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。	45	21	11	5	82	3.7%	3.2%
嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。	101	37	11	0	149	6.7%	5.8%
パソコンや携帯電話等で、ひぼう・中傷や嫌なことをされる。	21	47	33	4	105	4.7%	4.1%
その他	60	20	21	0	101	4.6%	3.9%
計	1,633	710	199	20	2,562	115.5%	100.0%

(表4) いじめの日常的な実態把握のために、学校が直接児童生徒に対し行った具体的な方法について

(単位：校)

区 分	小 学 校		中 学 校		高 等 学 校		特 別 支 援 学 校		計	
	いじめを認知した学校	いじめを認知していない学校	いじめを認知した学校	いじめを認知していない学校	いじめを認知した学校	いじめを認知していない学校	いじめを認知した学校	いじめを認知していない学校	いじめを認知した学校	いじめを認知していない学校
アンケート調査の実施	307	51	134	21	50	19	6	11	497	102
実施頻度	年1回	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	年2～3回	263	43	99	16	48	16	6	11	416
	年4回以上	44	8	35	5	2	3	0	0	81